

令和8年度 廃棄物自主管理事業について

神奈川県廃棄物自主管理調整会議
神奈川県
横浜市
川崎市
相模原市
横須賀市

目次

- 1 廃棄物自主管理事業とは（概要、対象事業者）
- 2 提出について（様式、提出方法、提出先、期限）
- 3 提出書類作成方法・記載例
【様式1→様式3→様式2→様式4,5（補足）】
- 4 よくある誤り

1 廃棄物自主管理事業とは

1 廃棄物自主管理事業とは①

手引き P1

排出事業者

- ◎ 廃棄物自主管理計画（状況）
報告書（様式1）
- ◎ 産業廃棄物処理計画書（様式2,4）
- ◎ 産業廃棄物処理計画実施状況
報告書（様式3,5）

提出・報告

情報提供

神奈川県・横浜市・川崎市
相模原市・横須賀市

- ◎ 報告書等の集計・分析
- ◎ 優れた取組事例の収集
- ◎ パンフレット等の作成
- ◎ フィードバック個票の作成
- ◎ 説明会の開催

県内全体での廃棄物の発生抑制、
再生利用及び適正処理等に向けた自主的な取組の促進

前年度の発生量	産業廃棄物	法定多量排出事業者	特別管理産業廃棄物
	1,000トン以上	50トン以上	1,000トン未満

法定 → 法定多量排出事業者として法に基づき処理計画等の提出義務あり
(廃棄物処理法 第十二条第9項)

自主 → 法定多量排出事業者ではないが提出していただきたい事業者
特に、次に該当する事業場の方は**提出を推奨**

- ◎ 令和7年度の産業廃棄物の発生量が800トン以上の事業場
- ◎ 令和7年度の特別管理産業廃棄物の発生量が40トン以上の事業場

1 廃棄物自主管理事業の手引き

- ・ 廃棄物自主管理事業の全体像を把握できる手引き
- ・ 令和8年度版は、神奈川県ホームページ「廃棄物自主管理事業」に掲載

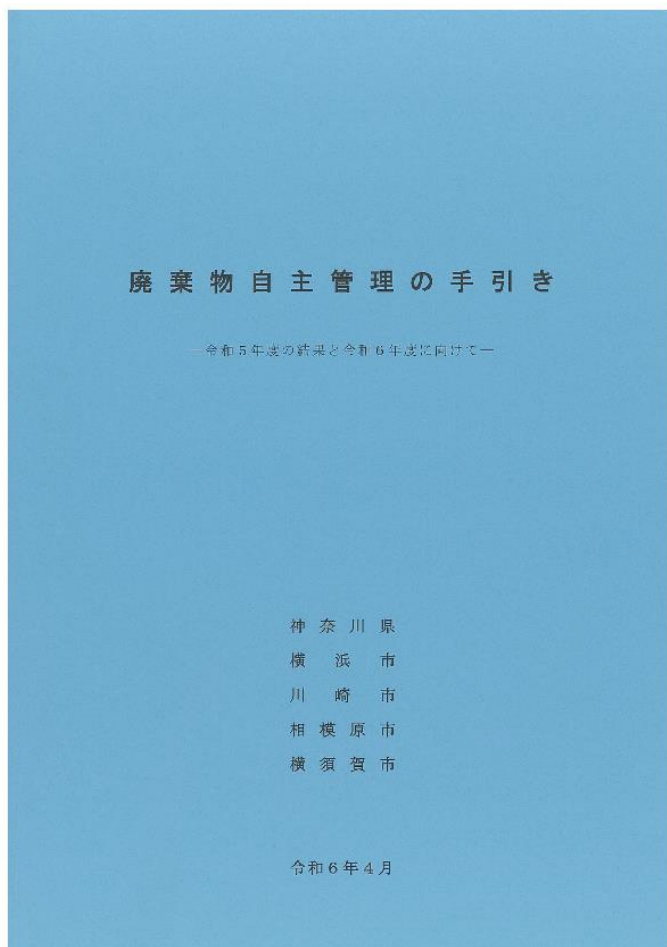
ダウンロードはこちら→



〈内容〉

- ◎ 届出書類の作成方法・提出等の説明
- ◎ 届出書作成等に係るQ & A
- ◎ 自主管理に係る取組事例
- ◎ 昨年度報告書の集計・分析結果

等



1 産業廃棄物適正処理のために

- ・ 産業廃棄物の排出事業者が遵守すべき事項をまとめたパンフレットです
- ・ 日々の廃棄物の適正処理のためにご活用ください



〈内容〉

ダウンロードはこちら→

- ◎ 廃棄物とは
- ◎ 排出事業者の責任について
- ◎ 排出事業者が遵守すべき事項について
- ◎ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）について
- ◎ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく罰則一覧

2 提出について (様式、提出方法、提出先、期限)

2 提出書類の様式①

手引き P3

手引の掲載ページ

提出様式		記載例	説明
様式 1	廃棄物自主管理計画（状況）報告書 →廃棄物の自主管理状況に関するチェックシート・アンケート	P.12～25	P.11
様式 2	産業廃棄物処理計画書 →今年度の産業廃棄物の処理に関する計画書	P.39～46	P.55～59
様式 3	産業廃棄物処理計画実施状況報告書 →昨年度の産業廃棄物の処理計画に対する報告書	P.26～32	P.37～38
様式 4	特別管理産業廃棄物処理計画書 →今年度の特別管理産業廃棄物の処理に関する計画書	P.47～54	P.55～59
様式 5	特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 →昨年度の特別管理産業廃棄物の処理計画に対する報告書	P.33～36	P.37～38

様式1 廃棄物自主管理計画（状況）報告書

◎ 廃棄物の自主管理状況について報告する届出書
（法的な提出義務はない）

◎ フィードバック個票の返送有

【フィードバック個票】

- ・ 事業場ごとの廃棄物発生量、減量化・資源化率の推移
- ・ 自主管理取組状況
- ・ 同業種平均との比較データ

令和7年度の産業廃棄物排出量が**1,000 t**以上である

はい

いいえ

様式4は
「特別管理産業廃棄物
50 t」
と読み替えてください

自主管理事業に参加したい

はい

いいえ

法定で提出

自主で提出

提出不要

2 提出書類の様式④

様式3 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

様式5 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

手引き P4

令和7年度に様式2（処理計画）を提出した

はい

いいえ

令和7年度に提出した
様式2の区分は？

法定

自主

法定で提出

自主で提出

提出不要

様式5は
「様式2」
を
「様式4」
と読み替えて
ください

2 提出書類の様式⑤

令和 6 年度の産業廃棄物発生量が1,000 t 以上のため、「**処理計画**」を作成し令和 7 年度に提出。区分は「法定」
「**実施状況報告**」を作成し令和 8 年度に提出。区分は「法定」

	産業廃棄物 発生量(実績値)	様式 2 処理計画	様式 3 実施状況報告
令和 6 年度	1,200t		
令和 7 年度	500t	法定	
令和 8 年度	—	自主	法定
令和 9 年度	—		自主

**当該年度
提出様式**

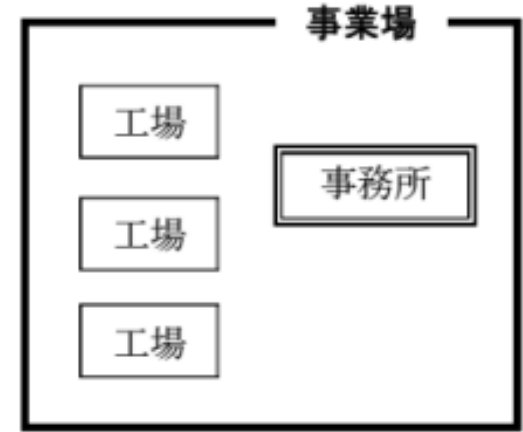
令和 7 年度の産業廃棄物発生量が1,000 t 未満のため、法定多量排出事業者とはなりません。廃棄物自主管理事業に参加。

「**処理計画**」を作成し令和 8 年度に提出。区分は「自主」

「**実施状況報告**」を作成し令和 9 年度に提出。区分は「自主」

2 提出書類の作成単位

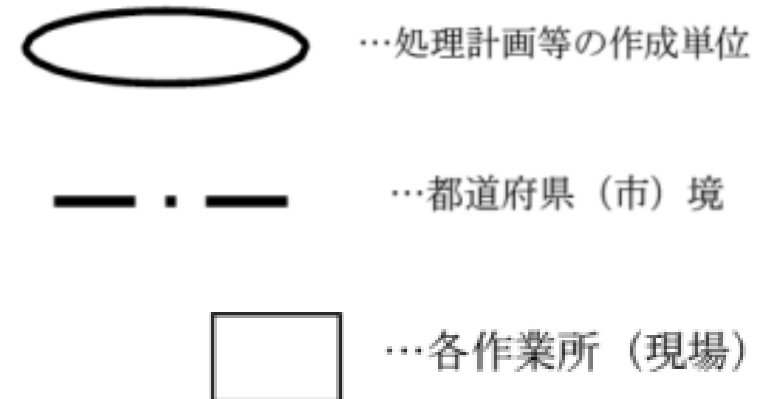
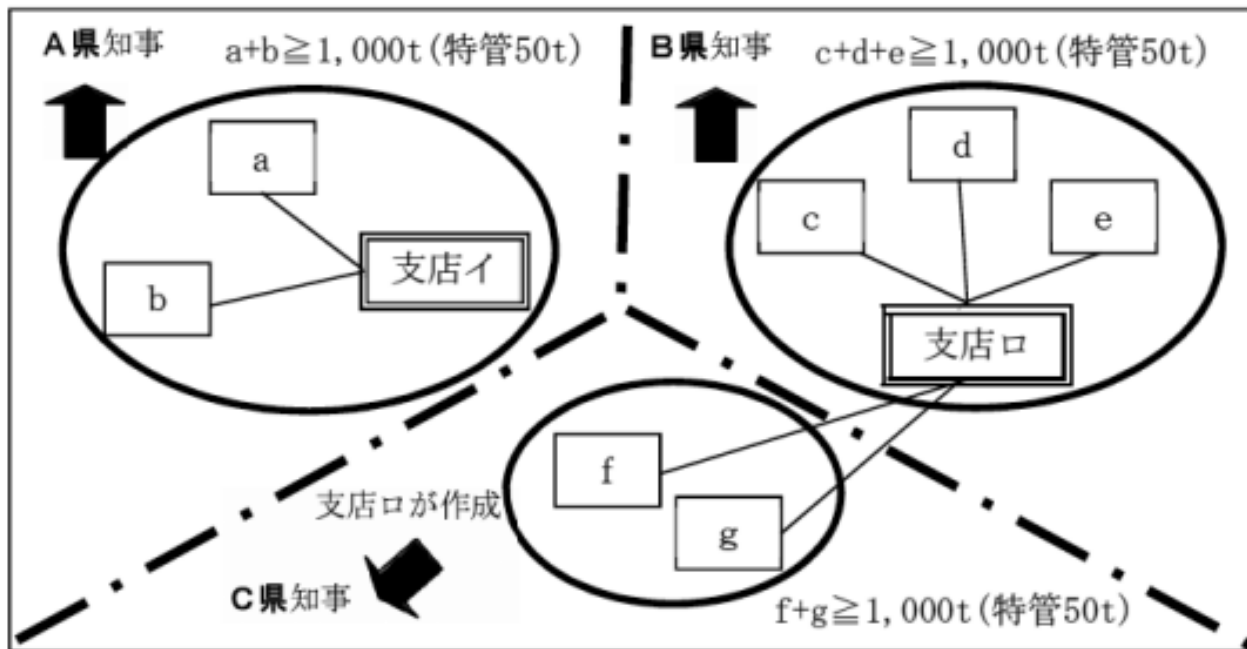
◎製造業等 ⇒ 事業場ごとに作成・提出。



◎建設業等

⇒行政区域単位ごとに作業所（現場）の発生量を把握。

総括的に管理している本店・支店等が、処理計画等を作成・提出。



◎提出様式の入手

神奈川県ホームページ「廃棄物自主管理事業」より、
最新の様式をダウンロードしてください

◎提出ファイル形式

エクセルファイルでご提出ください。（電子申請、CD又はDVD）

※エクセルファイルによる提出が困難である場合には、
書面による提出も可能。

◎提出期限

令和8年6月30日

◎提出先

事業場の所在する「行政機関」に提出してください

※提出先は手引きP9及び裏表紙をご覧ください

◎提出方法

●電子申請・届出システムによる提出

神奈川県ホームページ「廃棄物自主管理事業」の「提出方法」に各自治体の「電子申請・届出システム」のリンクがあります。

●エクセルファイルを記録したCD又はDVDによる提出

郵送又は持参

注意事項

- ・ 社印及び代表者印は絶対に押印しないこと
- ・ 個人情報等は記載しないこと

法定多量排出事業者から提出された処理計画等（様式2,3,4,5）は
廃棄物処理法に基づき所管する県・市のホームページにそのまま公表されます

◎受理証明等について

エクセルファイルで提出した様式の第1面を印刷したものを
同封又は持参していただければ、収受印を押印いたします。

郵送の場合は切手を貼った返信用封筒を同封してください

3 提出書類作成方法・記載例

神奈川県ホームページ「廃棄物自主管理事業」からダウンロード

様式 of データ

 2026form1.xlsx

→ **様式 1** (廃棄物自主管理計画 (状況) 報告書)

 2026form1_2.xlsx

→ 法定事項等の確認項目 (**提出不要**)

 2026form2.xlsx

→ **様式 2** (産業廃棄物処理計画書)

 2026form3.xlsx

→ **様式 3** (産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

 2026form4.xlsx

→ **様式 4** (特別管理産業廃棄物処理計画書)

 2026form5.xlsx

→ **様式 5** (特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

 2026form6.xlsm

→ データ反映・印刷ツール (**提出不要**)

※様式は毎年更新しているため、最新の様式をご使用ください

3 提出書類の作成方法② 様式間反映機能について

手引き P10

様式1 ⇒ 様式3 ⇒ 様式2 の順番で作成すると効率的

→ : 様式間反映機能

記載する内容	様式1	様式3	様式2
事業場の名称・所在地等	○	○	○
連絡先		○	○
令和7年度の排出量等の目標値		○	
令和7年度の排出量等の実績値		○	○
令和8年度の排出量等の目標値			○

様式間反映機能の注意事項

- ◎ 様式1～6は全て同じフォルダ内に保存して作業してください。
- ◎ ファイル名は変更しないで下さい。
(「〇〇株式会社2026form3.xlsx」等としない)

【記載内容】

①事業場の基本データ

名称、所在地、業種、自主登録番号等

→ 様式間反映機能で他の様式に転記可能

②廃棄物の管理状況の自己評価

適正処理、3Rの取組等を5段階で自己評価

③アンケート

電子マニフェストの使用状況等

◎前年度「（様式2）処理計画」に対する実績報告

◎様式構成

①第1面（様式3）

②別紙一括表（様式3-1）→③を入力すると自動で作成

③別紙処理フロー（様式3-2）

【準備するもの】

◎前年度排出した産業廃棄物（種類ごと）の

「排出量」、「自己中間処理量」、「再生利用前委託量」等

◎前年度に提出した「（様式2）処理計画」の中の【別紙一括表】

3 提出書類の作成方法⑥ 様式3 第1面

様式第二号の九(第八条の四の六関係) (第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月〇〇日

神奈川県知事 殿

提出者
住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇
氏名 〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	〇〇〇〇株式会社 〇〇工場	自主管理事業登録番号	〇〇〇〇
事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇-〇	TEL(連絡先):	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	E16-化学工業 (具体的には)	162 無機化学工業製品製造業	
② 事業の規模	製造業	製造品出荷額	5,500 百万円/年
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円/年
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円/年
※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。 (上記項目に該当しない場合にはこちらに記載してください。)			
③ 従業員数	250名		

産業廃棄物処理計画における計画期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	34,205.0 t	全処理委託量	4,205.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,140.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	3,167.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	30,000.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	50.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	35.0 t

※ 事務処理欄

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主

TEL(連絡先):

緑のセル

様式間反映機能で、様式1から転記可

オレンジのセル

別紙処理フロー(様式3-2)を入力すると、自動入力。

3 提出書類の作成方法⑦

様式3

別紙処理フロー

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

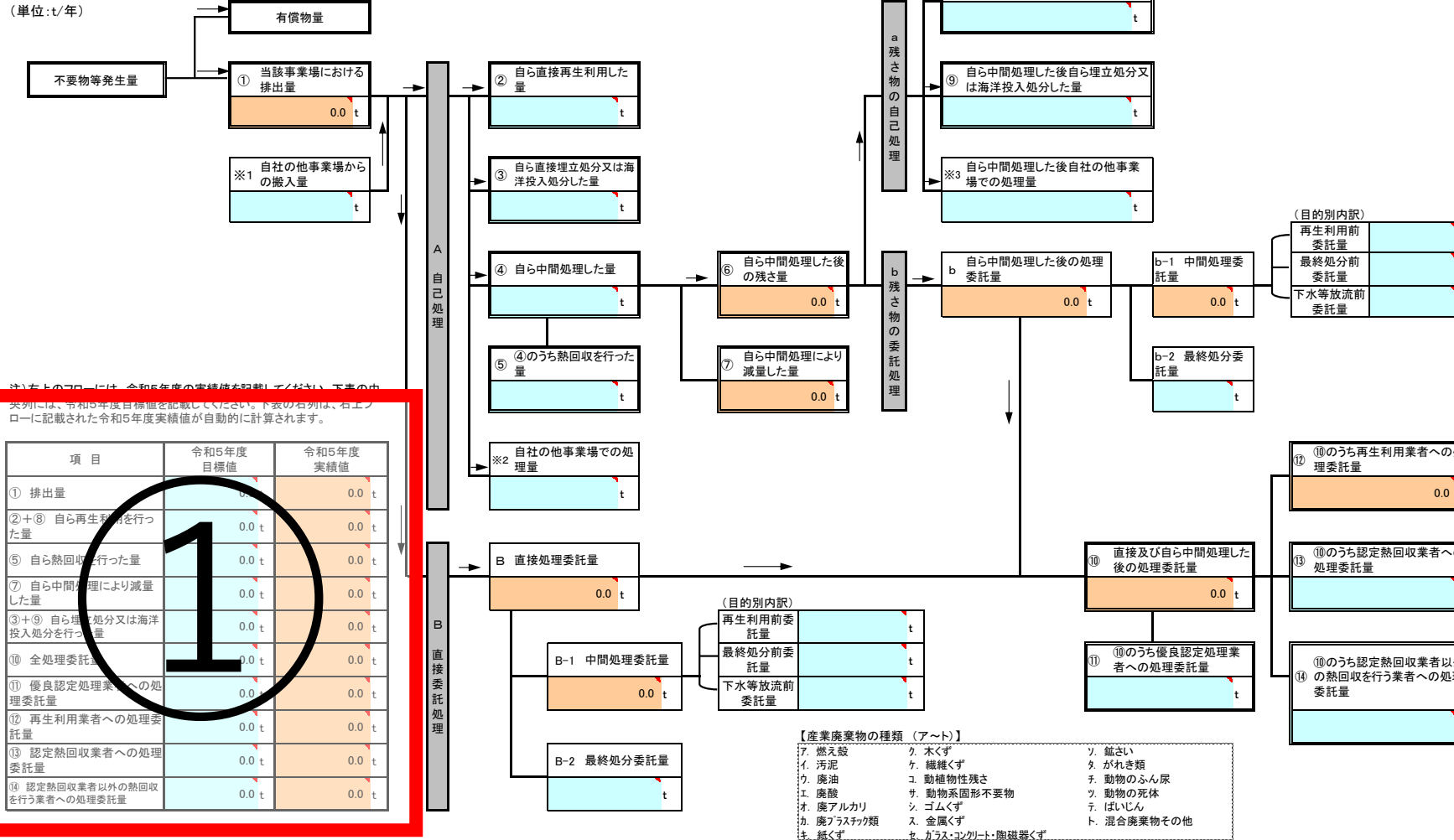
別紙処理フロー

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ア. 燃え殻
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右のフローには、令和5年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和5年度目標値を記載してください。下表の右列は、右エフローに記載された令和5年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和5年度目標値	令和5年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

水色のセル



入力する

オレンジのセル



入力しない

3 提出書類の作成方法⑧ 様式3 別紙処理フロー

項目	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

水色のセル

→ 前年度目標値

前年度の様式2「処理計画」に記載した目標値を記入。

オレンジのセル

→ 前年度実績値

別紙処理フロー（様式3-2）を入力すると、自動入力。

3 提出書類の作成方法⑨

様式3

別紙処理フロー

注意：本年度の目標量のみでフロー図の実績データがない場合にも、本年度目標データを該当欄に入力してください

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
-----	----	----

別紙処理フロー

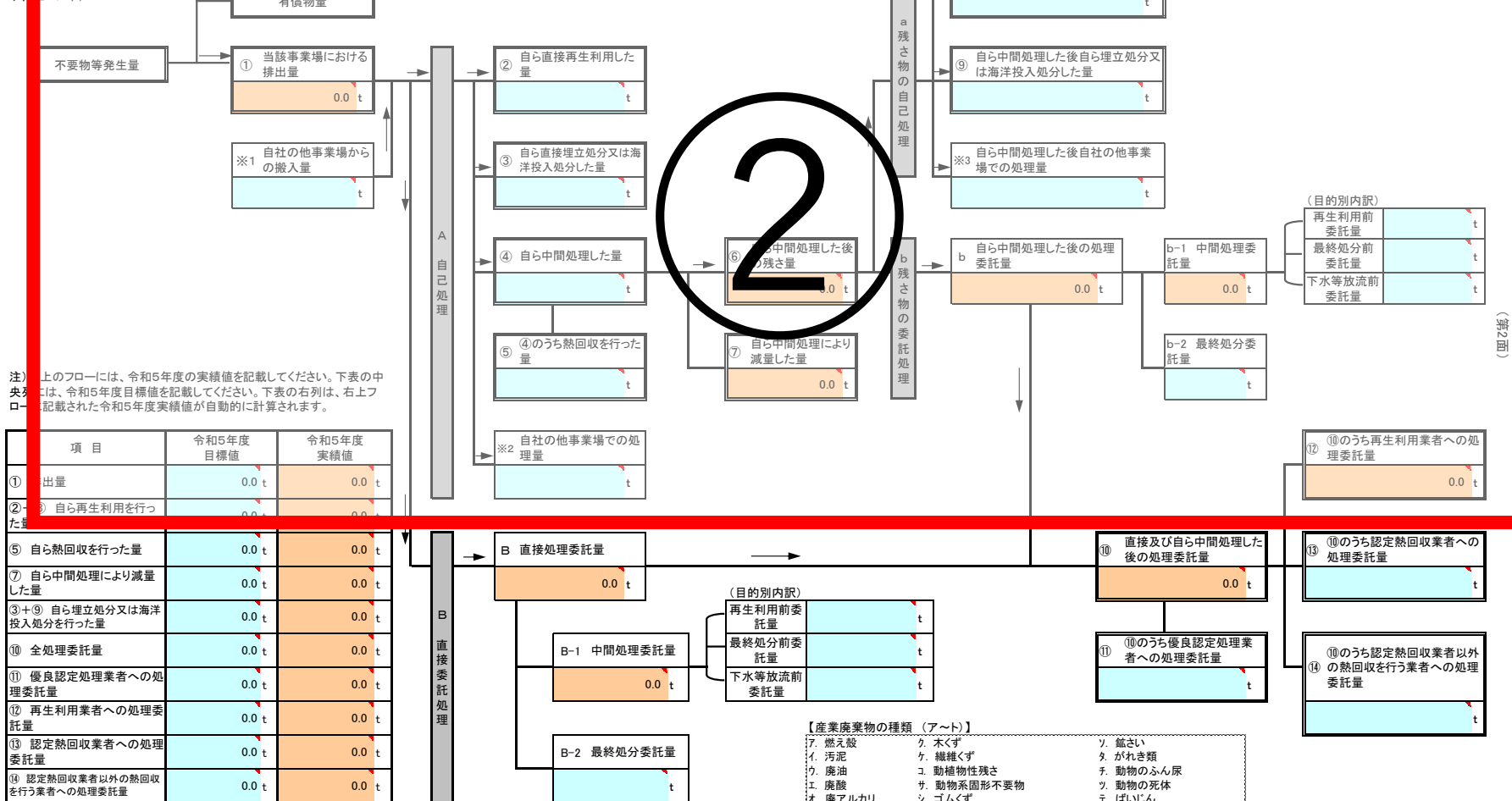
事業場名称：

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類

※1 用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フロー別シートに記載してください。

(単位：t/年)



水色のセル



入力する

オレンジのセル

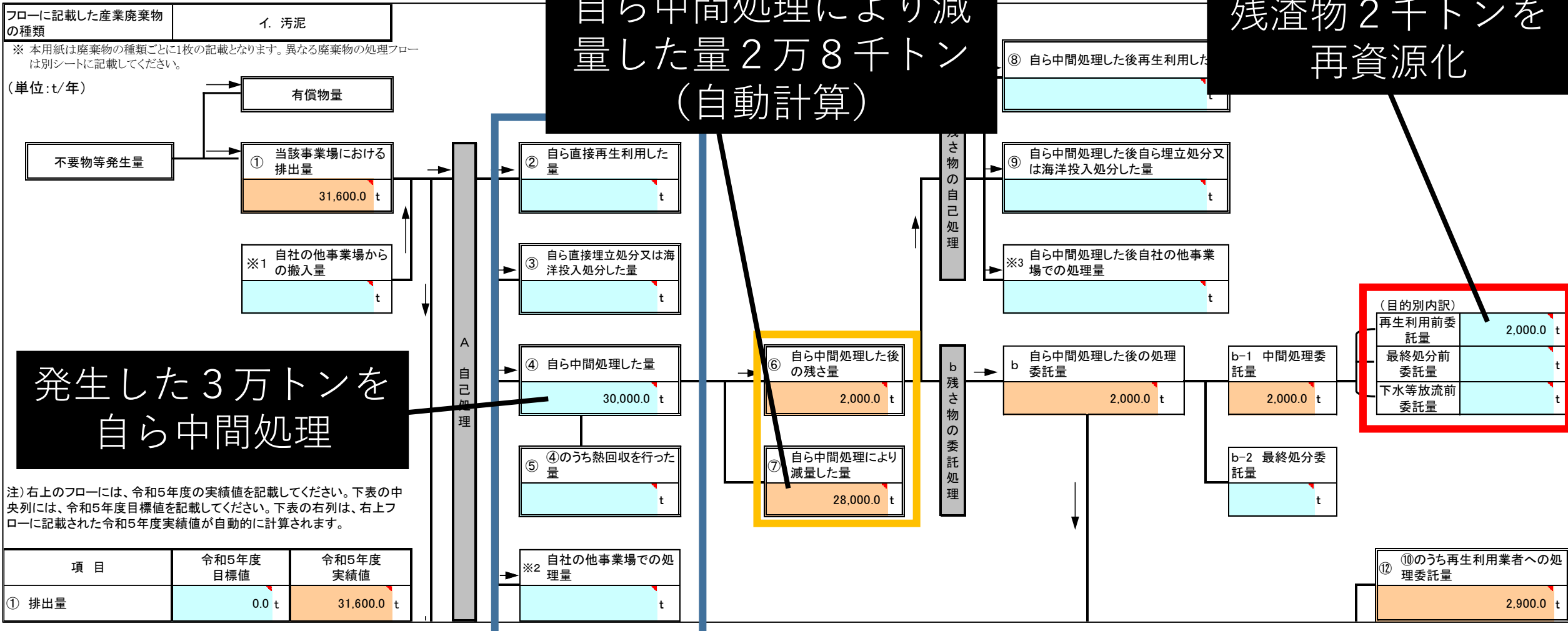


入力しない

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

- ア 燃え殻
- イ 汚泥
- ウ 廃油
- エ 廃酸
- オ 廃アルカリ
- カ 廃プラスチック類
- キ 紙くず
- ク 木くず
- ケ 繊維くず
- コ 動物性残渣
- サ 動物系固形不要物
- シ ゴムくず
- ス 金属くず
- セ カラス・コウライ・ト：陶磁器くず
- ソ 鉱さい
- タ がれき類
- チ 動物のふん尿
- ツ 動物の死体
- テ ばいじん
- ト 混合廃棄物その他

フローの上半分 → 自己処理について記載



3 提出書類の作成方法⑪

様式3

別紙処理フロー

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

注意：本年度の目標量のみでフロー図の実績データがない場合にも、本年度目標データを該当欄に入力してください

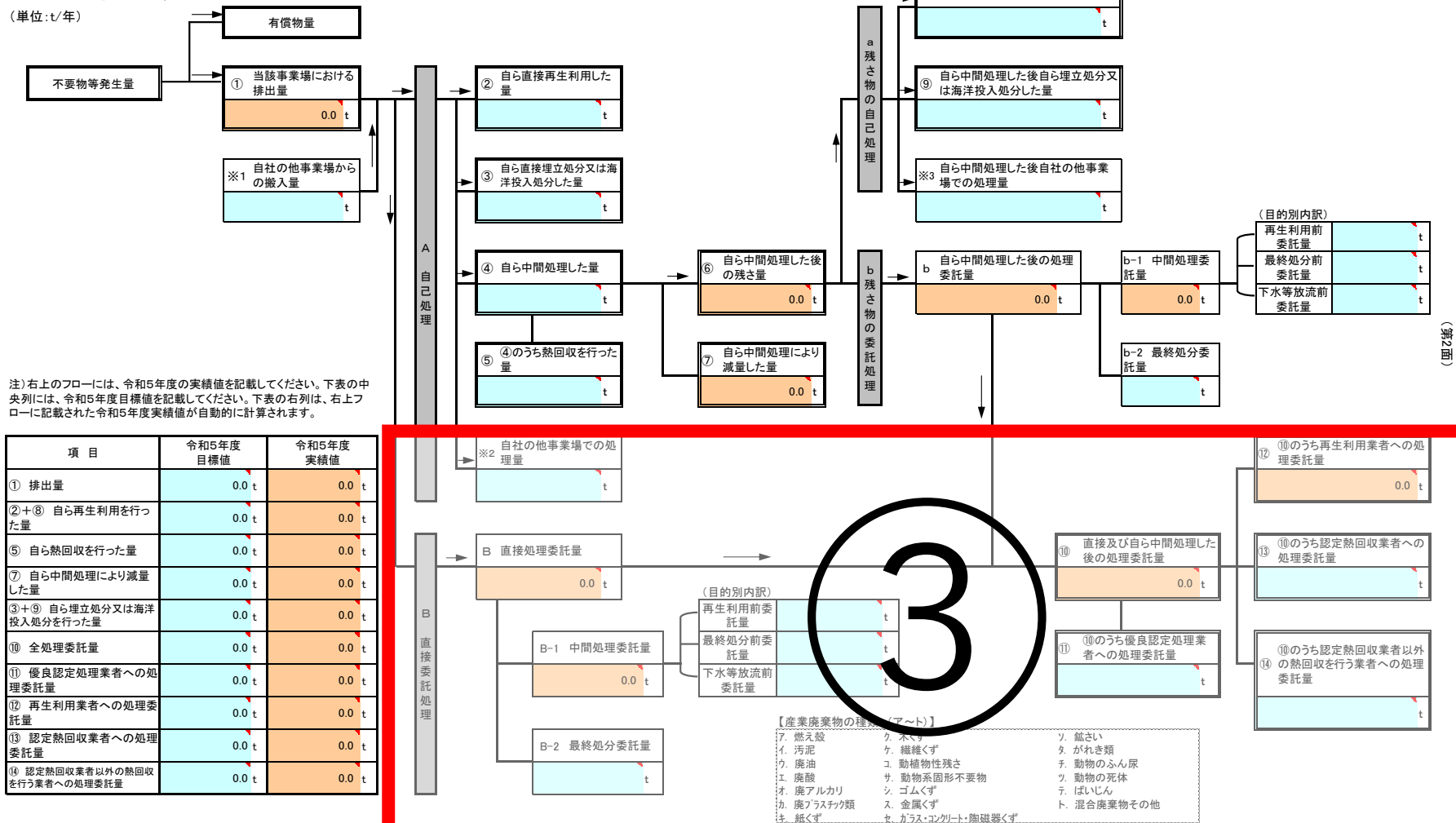
別紙処理フロー

令和5年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ア. 燃え殻
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位：t/年)



水色のセル



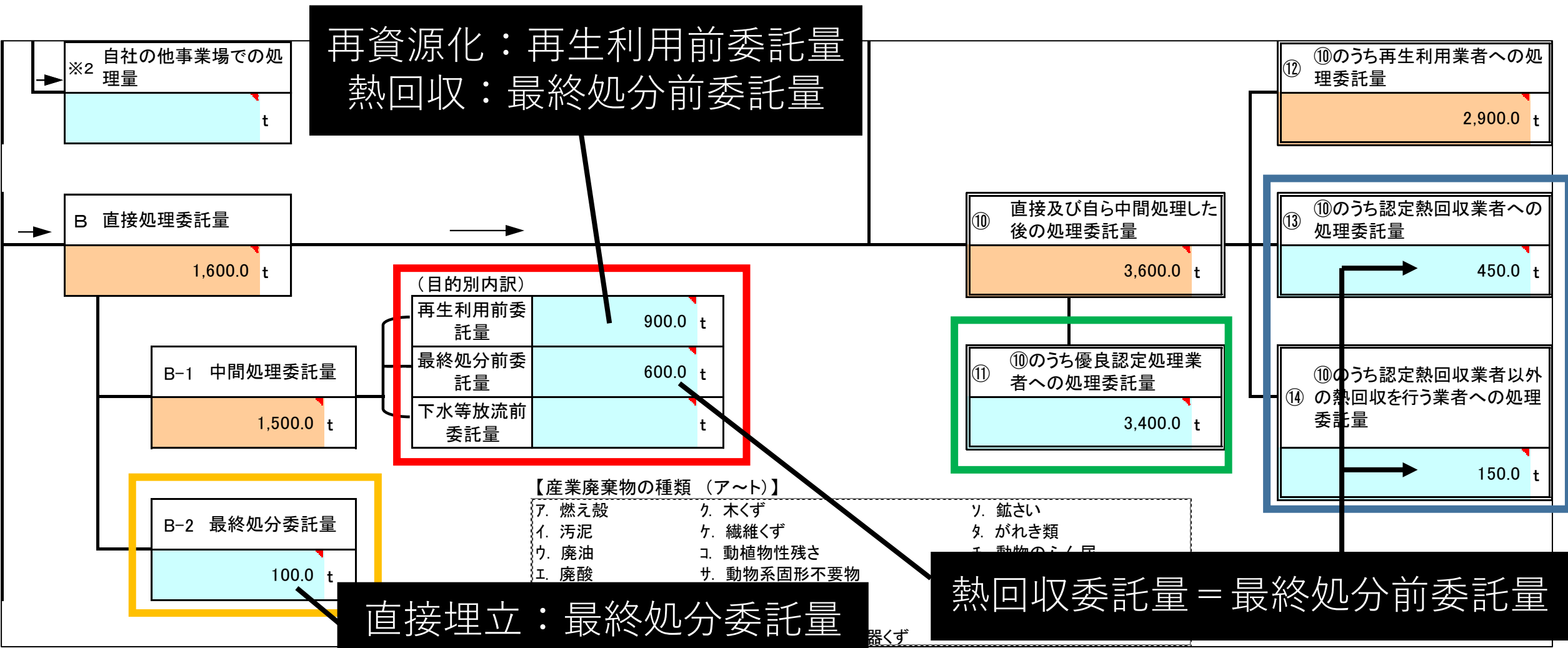
入力する

オレンジのセル



入力しない

フローの下半分 → 委託処理について記載



プラスチック資源循環法（令和4年4月施行）

プラスチック多量排出事業者

（前年度におけるプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量が250トン以上である排出事業者）

- ▶ 排出の抑制及び再資源化等に関する目標を定める。
- ▶ 排出量及び目標の達成状況を公表する（努力義務）

排出事業者（プラスチック多量排出事業者を除く。）

- ▶ 排出量と、排出の抑制及び再資源化等の状況を公表する（努力義務）

プラの再資源化、熱回収の状況を把握する必要性



様式3（実施状況報告書）の廃プラスチック類の再生利用の項目を
マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、燃料化、その他に区分

3 提出書類の作成方法⑭

様式3

補足 (廃プラ)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

【セル色の説明】
 薄水色 : 内容・データ等を入力してください
 薄橙色 : 自動処理されるので、変更できません。

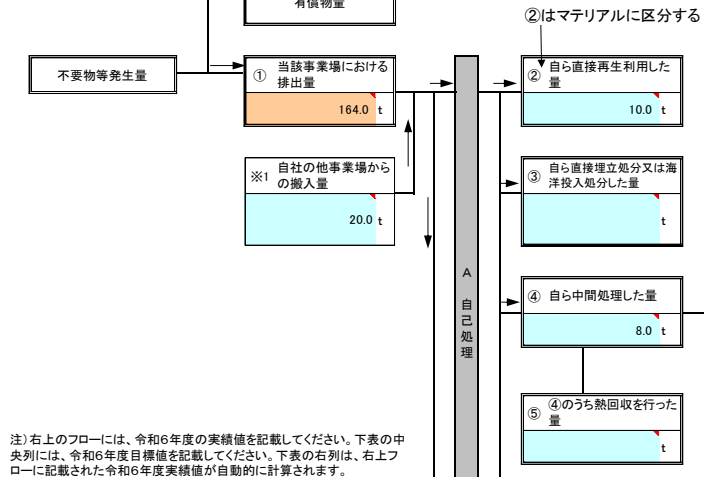
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類
 カ 廃プラスチック類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値
① 排出量	278.0 t	164.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	13.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	278.0 t	171.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	179.0 t	108.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	240.0 t	121.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	10.0 t	21.5 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.0 t	4.0 t

排出量等のうち有効利用の割合	86.7 %
(内訳) サーマリカバリの割合	30.7 %

事業場名称 : ○○○株式会社 ○○工場

3-2	法定	自主
	○	

① 自ら再生利用した量の内訳

ア マテリアル	t
ケミカル	t
ウ 燃料	3.0 t
エ その他	t

② 委託して再生利用した量の内訳

ア マテリアル	55.0 t
ケミカル	10.0 t
ウ 燃料	28.0 t
エ その他	1.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア 燃え殻	カ 木くず	リ 紙くず
イ 汚泥	ケ 繊維くず	タ がれき類
ク 廃油	コ 動植物性残さ	チ 動物のふん尿
ク 廃酸	ク 動物系固形不要物	ウ 動物の死体
オ 廃アルカリ	シ ゴムくず	ニ ばいじん
カ 廃プラスチック類	ス 金属くず	ト 混合廃棄物その他
キ 紙くず	セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

① 自ら再生利用した量の内訳

② 委託して再生利用した量の内訳

③ 排出量等のうち有効利用の割合

3 提出書類の作成方法^⑮

様式3 補足（廃プラ）

手引き P31～32

ア マテリアル	55.0 t
イ ケミカル	37.0 t
ウ 燃料化	28.0 t
エ その他	1.0 t

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量
	121.0 t

ア マテリアル	①プラ原料化 ②プラ製品化
イ ケミカル	①原料・モノマー化 ②高炉還元剤 ③コークス炉化学原料化 ④ガス化・油化（RPFガス化含） （化学原料としての利用）
ウ 燃料化	①固形燃料化（RPF化など） ②セメント原・燃料化 （セメント精製過程における燃料使用のみ） ③ガス化・油化（燃料としての再生）
エ その他	焼却して、焼却灰を路盤材等に再利用する場合等

ア	マテリアル	55.0 t
イ	ケミカル	37.0 t
ウ	燃料化	28.0 t
エ	その他	1.0 t

ここに熱回収は入りません！

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

121.0 t

⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量

21.5 t

⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

4.0 t

熱回収は今までどおり、「熱回収業者への処理委託量」に入力。

◎ 提出年度の数値目標や取組目標を策定する

◎ 様式構成

① 第1～5面（様式2）

② 別紙一括表（様式2-1） → ③を入力すると自動で作成

③ 別紙処理フロー（様式2-2）

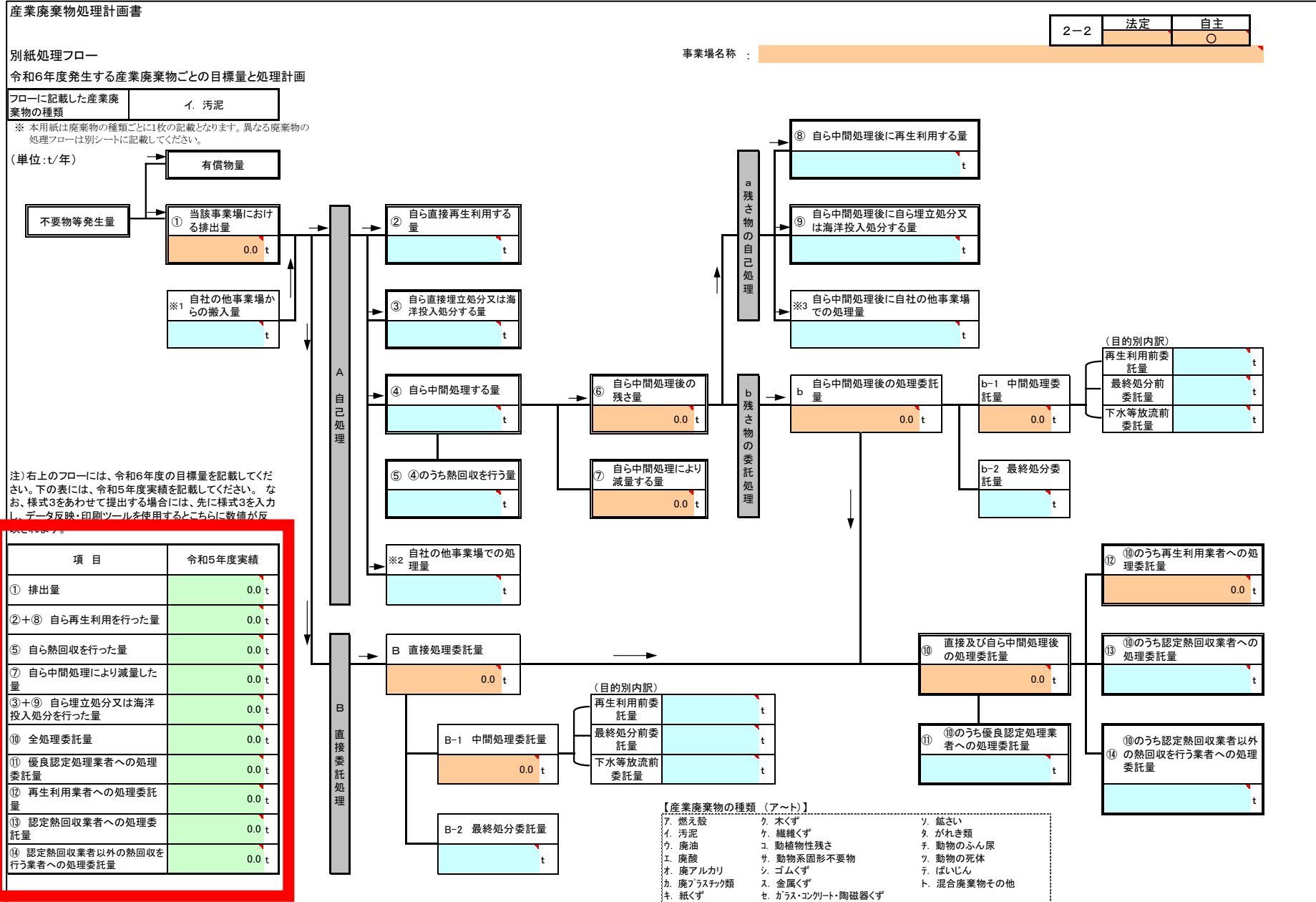
【準備するもの】

◎ 前年度排出した産業廃棄物（種類ごと）の

「排出量」、「自己中間処理量」、「再生利用前委託量」等

- ◎ 事業場の基本情報（緑色セル）
→ 様式間反映機能で自動転記
- ◎ 廃棄物排出量実績値・目標値（オレンジ色セル）
→ 別紙処理フローを入力すると自動入力
- ◎ 処理工程、管理体制、廃棄物に係る取組について
→ **現状と計画について記載**（水色セル）

3 提出書類の作成方法①9 様式2 別紙処理フロー



水色のセル



入力する

オレンジのセル



入力しない

◎作成手順は様式2,3と同様

【様式2,3との相違点】

- ・産業廃棄物 → 特別管理産業廃棄物
- ・1,000トン以上 → 50トン以上
- ・**「電子情報処理組織（電子マニフェスト）の使用に関する事項」**の記載

電子マニフェストの義務化

【対象者】

特別管理産業廃棄物を年間50トン以上（PCB廃棄物を除く）排出する事業者

【記載内容】

電子マニフェストの使用に関する取り組みを記載。

PCB廃棄物を除くと年間排出量が50トン未満となる場合は、その旨を記載。

4 よくある誤り

4 よくある誤り①

「区分」の不整合

手引き P66

該当する欄に○印を記入してください。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

3	法定	自主
	○	

令和8年度提出
様式3 (第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和8年6月30日

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

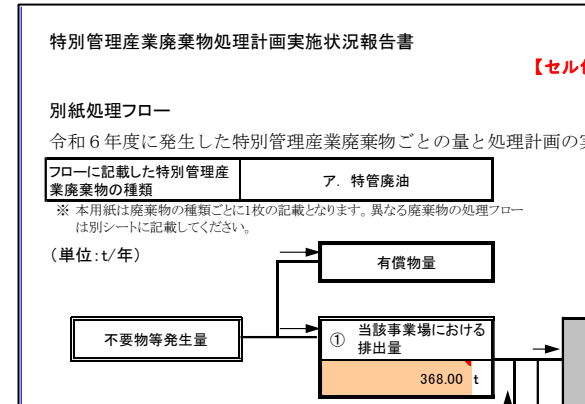
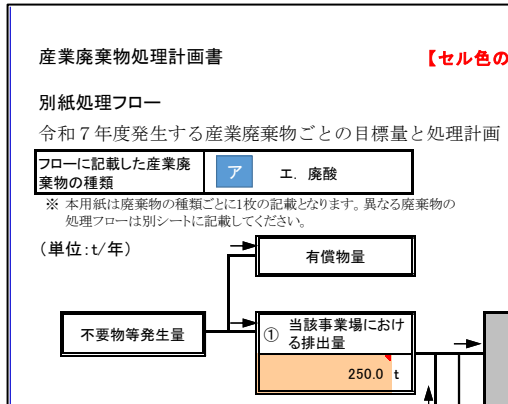
(第1面)

2	法定	自主
	○	

令和7年度提出
様式2 (第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日



令和8年度提出
様式2 (別紙処理フロー)

令和8年度提出
様式3 (別紙処理フロー)

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	368.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	368.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	278.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	368.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

注) 右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	356.0 t	368.00 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	220.0 t	0.00 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.00 t
⑩ 全処理委託量	105.0 t	368.00 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	90.0 t	278.00 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	105.0 t	368.00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.00 t



令和8年度提出 様式2~5 (別紙処理フロー)

⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量

≥

「⑫再生利用業者への処理委託量」
 +
 「⑬認定熱回収業者への処理委託量」
 +
 「⑭認定業者以外の熱回収業者への委託量」

⑩	直接及び自ら中間処理後の処理委託量	3,000.0 t
---	-------------------	-----------

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	600.0 t
---	---------------------	---------

リ 鋳さい
 夕 がれき類
 エ 動物のシノ屑

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	2,930.0 t
⑬	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量	40.0 t
⑭	⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	40.0 t

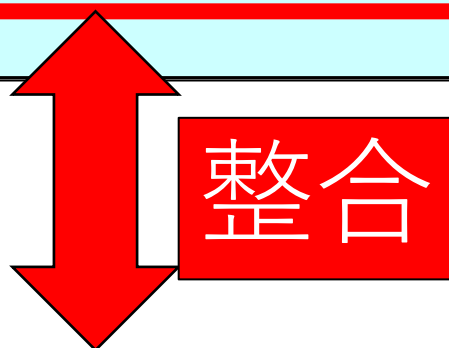
エラー!: ⑩の内数である(⑫+⑬+⑭)の量が⑩を超えています

エラー!: ⑩の内数である(⑫+⑬+⑭)の量が⑩を超えています

黄色の合計の方が大きいと、エラーメッセージが出ます。

令和8年度提出 様式2、4

③ 従業員数	250名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ○燃え殻⇒コンクリート固形化⇒埋立 ○汚泥⇒焼却⇒埋立 ○廃油⇒油水分離⇒助燃剤 ○廃酸⇒焼却⇒埋立 ○廃プラスチック類⇒破碎・圧縮⇒再資源化 ○金属くず⇒破碎⇒再資源化 ○ガラス・コンクリート・陶磁器くず⇒破碎⇒再資源化 ○ばいじん⇒薬注入固化⇒再資源化
※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	



「別紙処理フロー」に記載した

{
 廃棄物の種類
 処理の内容